

STOに必要な 7つの工程

2019年8月10日

Sekai inc.

STOとは

STOとは
セキュリティ・トークン・オファリング (Security Token Offering)の略で
証券トークンという意味です。

STOは、ICOに次ぐ新しい資金調達方法のことで、会社の所有権や配当がある、
やや株式に似た性質を持っています。

Security Token Offeringの「Security」は有価証券を意味しており、
STOでは投資目的でトークンを購入することができます。



STOとは

これまでICOトークンは、あくまでも資金調達が目的となっており、金融商品として認められていませんでした。（米国証券取引所：SEC）

そのため、証券法をはじめとするさまざまな法律や規制に従う必要があり、投資目的でトークンを購入してはいけなかったんです。

しかし、STOトークンの場合は初めから有価証券として認められているため、投資目的として堂々と購入することが可能です。

また、有価証券特有の「配当」を受けることもでき、株式に似た特性を持っているのが特徴といえます。

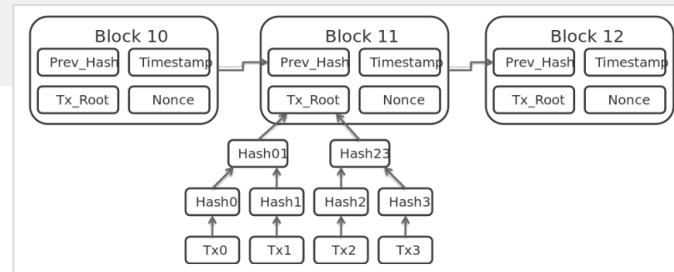
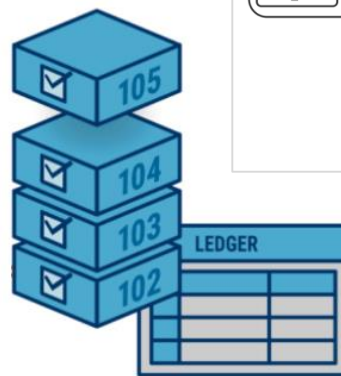
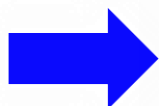


STOとは

Blockchain技術（スマートコントラクト）を実装したセキュリティ・トークンを使うことで証券をデジタルトークンとして利用します。

上書きが証明され、流通経路も明確であるBlockchainの仕組みで株式や不動産、資源、あらゆる物がトークン化され、今まで流動性が低かったものを世界中の誰もが簡単に24時間365日売買できるようになります。

（STOの市場は将来的に1000兆円規模になる）

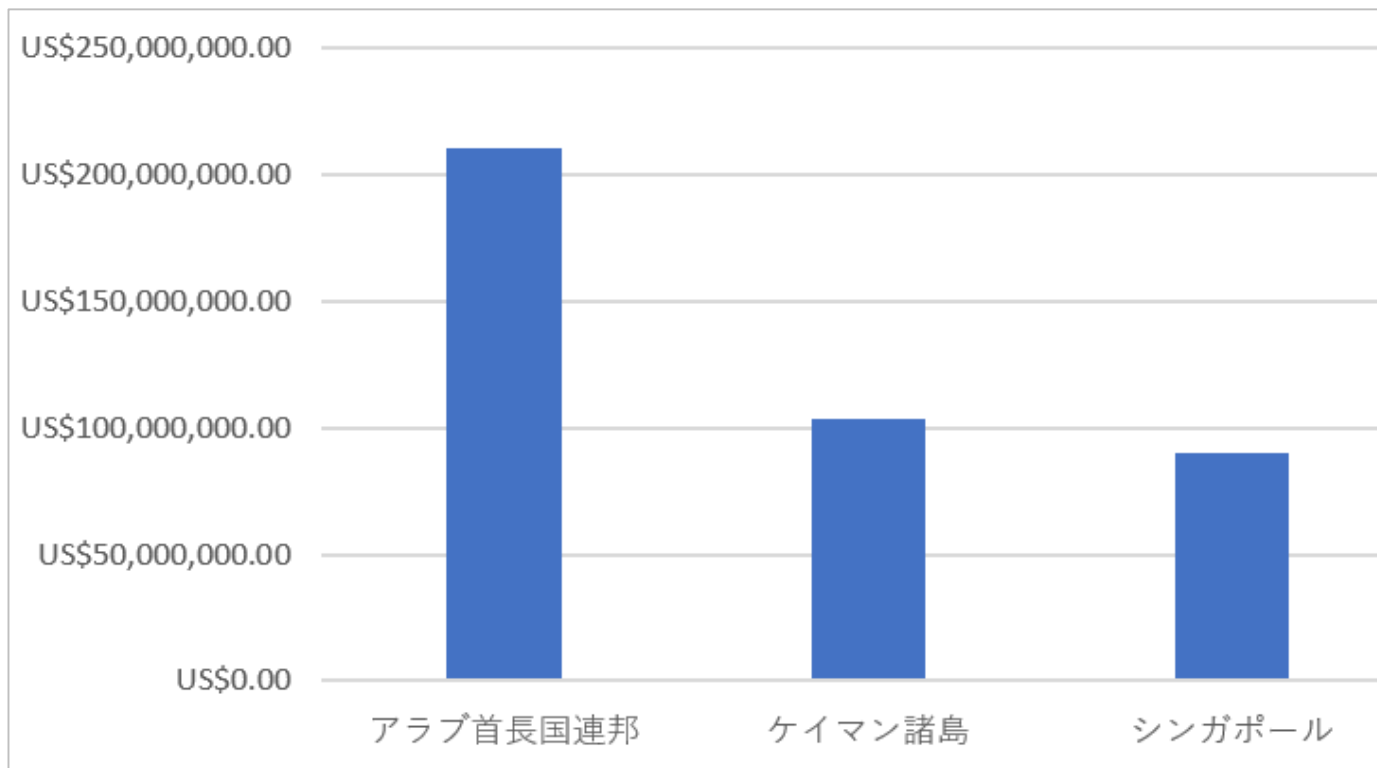


証券ごとにBlockを形成し
ハッシュが経路を記録

SECや取引所が定期的に監査

2019年資金調達状況

Total Funds Raised 2019



参考: CoinSchedule

CoinScheduleが最近発表したデータによると、アラブ首長国連邦（UAE）は今年これまでのところ、暗号トークン販売に世界最大の資金調達が行われている。

2019年の開始以降に調達された資金の25%以上（2億1,050万ドル）は、湾岸諸国からの資金です。ケイマン諸島は1億380万ドルで2位、シンガポールは8970万ドルで3位でした。

<https://cointelegraph.com/news/uae-becomes-worlds-biggest-contributor-to-token-sales-data-shows>

STOに必要な 7つの工程

【ご注意】

- ※当資料は海外法人でSTO（セキュリティ トークン オファリング）を実施する場合に必要と考えられる項目詳細を公開しております。各国の金融庁の法律規制を網羅しているものではありませんのでご参考になしてください。
日本国内でのSTO（セキュリティ トークン オファリング）は2019年8月10日現在では法律が存在しないため、認められておりません。
- ※当資料はSTO（セキュリティ トークン オファリング）のサービスを提供するコンサルティング会社、弁護士事務所、プラットフォーム提供会社、ブローカーディーラ（証券会社）の協力のもと、情報として公開しております。
各国の法的基準が変更になることを想定しておりません。当情報における当社の責任はございませんことご了承いただきご参考資料としてください。なお、当社はマルタ共和国の法人として情報提供しております。

1.STO戦略立案

- ①事業モデルに合わせた戦略の立案
 - ・プロジェクトファイナンス型STO
 - ・エクイティファイナンス型STO
- ②資金調達レギュレーション選択
 - ・ Reg D、Reg S、Reg A+の選択 米国弁護士
- ③海外法人設立
 - ・ ケイマン諸島、シンガポール、香港、マルタ共和国



2.海外法人設立

①法人概要

- ・ 資本金、役員選任、セクレタリー、弁護士

②税金対策

- ・ 会計士、カストディアン

③銀行口座開設

- ・ 口座名義、調達資金の移動



3. デューデリジェンス

- ① 会社の基本情報
 - ・ エクイティ構造、組織構造図と要員紹介、ライセンス
- ② ビジネスモデル
 - ・ 事業紹介、運営状況、人材状況、利益モデル
- ③ 業界の状況
 - ・ 産業分析、国内外の業界状況、業界の現状と動向
- ④ 市場ポジショニング
 - ・ 市場ポジショニング、SWOT
- ⑤ 財務状況分析
 - ・ 財務諸表、主要項目分析、利益の分析、管理費分析
- ⑥ 今後の開発計画
 - ・ 直近開発目標、財務予測

4.コンプライアンス制定

①STOコンプライアンス

・ ビジネス構造、ガバナンス、ライセンス、弁護士

②KYC AML

・ プラットフォーム、マネジメント

③リスクアセスメント

・ 実行部隊、ルール全般と監査の仕組み構築



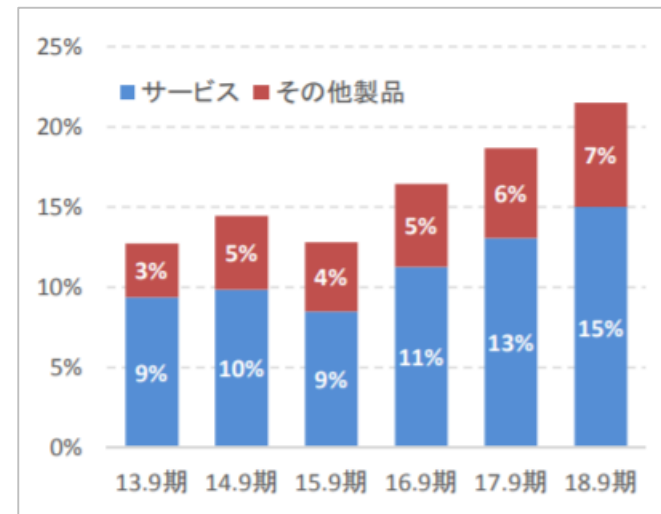
5.プロポーザル作成

①投資家向けPitchDeck制作

・WEB、ホワイトペーパー、PitchDeck、Onepager

②ファイナンスシート制作

・事業計画書、イグジットイメージ



6.資金調達

- ①ブローカーディーラ（証券会社）
 - ・グローバルブローカーディーラ、投資アドバイザー
- ②ロードショー
 - ・頻度、エリア選択、期間
- ③マーケティング・ダイレクトアプローチ
 - ・投資家ネットワーク、調達プログラム
 - ・メディア掲載


 The logo for PitchBook, featuring a stylized white icon of a book or document on the left, followed by the word "PitchBook" in a white sans-serif font.


 The logo for AngelList, featuring a white hand icon making a peace sign on the left, followed by the word "AngelList" in a white sans-serif font.

7.上場・流通

- ①STOプラットフォーム登録
 - ・トークン設計開発・発行
 - ・トークン登録・流通促進
- ②上場
 - ・STO取引所への上場
- ③IPO準備（必要な場合）



会社概要

会社名 株式会社 世界
 設立 2012年1月19日
 資本金 4,500万円（資本準備金含む）
 代表 小林一弘
 東京オフィス 東京都東京都新宿区新宿6-27-30
 新宿イーストサイドスクエア3階
 台湾オフィス 台北市中山区南京東路2段137號14樓
 マルタ共和国 152/No.8, Triq in-Naaxxar, San Gwann, SGN 9030, Malta
 事業内容 ■ インターネットでの日本不動産販売事業
 ■ インバウンドマーケティング事業
 ■ ICO,STOコンサルティング事業



<Our clients>



<代表者紹介>

1997年株式会社インターネット広告社を創業。(現、株式会社ネットフロンティア)

2011年株式会社世界を創業。

世界中の仮想通貨業界の著名人BEST200名とネットワークを持ち、世界でのMeetupイベントを開催
 中国・韓国・台湾・香港・シンガポール、ドバイ、スイス、ドイツなど世界の投資家、投資ファンドを対象に
 ファンドレイジングを実施。STOコンサルティングとしてアジア、米国企業との協業
 ヨーロッパブロックチェーンビジネス会議所（European Chamber of Crypto Commerce）の日本代表